



天津っ子

~Amatsu with your smile~

*「天津っ子」は本校HPでご覧いただけます。「天津っ子」で検索してください。 真庭市立天津小学校

体験を通して学ぶ

インターネット等を活用し、様々な情報を得ることや疑似体験はできますが、児童期に大切にしたいことは、やはり実体験をすることです。27年前の中央教育審議会答申の中に、次のような文があります。27年前の答申ですが、現在進行形の課題となっていると感じています。

子どもたちに『生きる力』をはぐくむためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要であるということである。子どもたちは、具体的な体験や事物との関わりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいく。そして、そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組むことを通じて、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるのである。このように、体験は、子どもたちの成長の糧であり、『生きる力』をはぐくむ基礎となっているのである。しかしながら、…今日、子どもたちは、直接体験が不足しているのが現状であり、子どもたちに生活体験や自然体験などの体験活動の機会を豊かにすることは極めて重要な課題となっていると言わなければならない。こうした体験活動は、学校教育においても重視していくことはもちろんであるが、家庭や地域社会での活動を通じてなされることが本来自然の姿であり、かつ効果的であることから、これらの場での体験活動の機会を拡充していくことが切に望まれる。

(「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について(第一次答申)」平成8年7月19日中央教育審議会答申より)

本校の学校教育目標は「自己の未来を切り拓く『生きる力』の育成」です。子供たちの未来をより豊かなものにするためにも、実際に体験する機会を、各学年でつくっていきたいと考えています。

宿泊学習～国立吉備青少年自然の家～

5月24日(水)25日(木)の1泊2日で、5年生が宿泊学習に行ってきました。オリエンテーリングでは、グループごとにチェックポイントを見つけていく活動を行いました。地図の

場所だと思って進んでいても、実際に全然違う場所に行ってしまったグループもありました。子供たちは、地図を読んで進むことの難しさに気づくことができました。カッター漕ぎでは、オールを漕いで進むことの難しさと、息が合ったときにグリーンと進む心地よさの両方を体験することができました。実際の体験を通して新たな気づき、学びのあった2日間となりました。チームワークが高まった5年生です。そのチームワークを今後の学校生活で、高学年として発揮してくれることを期待しています。



食品ロス講座

5月25日(木)、6年生が総合的な学習で取り組んでいるキャリア教育の一環として、セブンイレブン・ジャパンの方をゲストティーチャーに招き学習をしました。会社の歴史や、SDGsの取組として「食品ロス」を少しでも減らすためにどのような工夫をしているのかななどを、教えていただきました。早速、買い物に行って『てまえどり』を実践した子がいたようです。環境を守るために、自分たちでもできることを知る機会となりました。



タブレット活用

体験学習と並行して、これからの時代に必要な『生きる力』のひとつであるICT活用能力を育成していく学習活動も推進しています。1年生では、タブレットの起動の仕方や読書アプリのYomokka!を立ち上げて使う方法などの基本操作を学習しました。画面をタッチして操作することに、慣れている子が多いのでしょうか、すぐに操作できるようになりました。1年生の子供たちはYomokka!の中から、読みたい本を見つけて、読書を楽しんでいました。

